

GAFスコア

精神的な機能の評価としてDSM-IVのGAFスコアが用いられることがある。身体的または環境的な制約による機能障害は含めずに評価する。下記の10ずつ区切った範囲を定義に従って選び、その範囲で評価者の判断で数を決定する。正確な内容はDSM-IVなどにあたる必要があるが、概略は以下の通り。

100-91	症状はない。様々な物事につき最高に機能し、生活の中で問題はなく、多く面で優れており、人々から求められている存在。
90-81	症状はないか、あってもほんの少しだけで、よくある日常的な問題や心配ぐらいのもの。すべての面でよく機能し、様々な活動に興味をもって参加し、社交面でそつがなく、生活におおむね満足できている。
80-71	症状はあっても、心理社会的ストレスへの一過性の予期できる範囲の反応。社会的／職業的な／学校生活の障害は、あってもわずか。
70-61	いくつかの軽い症状があるか、いくらかの社会的／職業的／学校生活の困難がある。一般的に、機能はかなり良好で、有意義な人間関係も十分にある。
60-51	中等度の症状があるか、中等度の重大な社会的／職業的／学校生活の機能に障害がある。
50-41	重大な症状があるか、重大な社会的／職業的／学校生活の機能に障害がある。
40-31	現実検討や意思伝達にいくらかの欠陥があるか、仕事・学校・家族関係・判断・思考・気分など多くの面で大きな欠陥がある。
30-21	妄想や幻覚に行動がかなり影響されているか、意思伝達か判断に大きな欠陥があるか、ほぼすべての面で機能できない。
20-11	自分や他人を傷つける危険がかなりあるか、最低限の身の清潔維持ができないか、意思伝達に大きな欠陥がある。
10-1	自分や他人をひどく傷つける危険が続いているか、最低限の身の清潔維持が持続的にできないか、明確に死が予測できる自殺行為。
0	情報不十分